



「房総里山芸術祭 いちはらアート×ミックス2020+」でドローンを利用した未来型アートイベント「ウォーターバルーンアート」を実施

出光興産株式会社

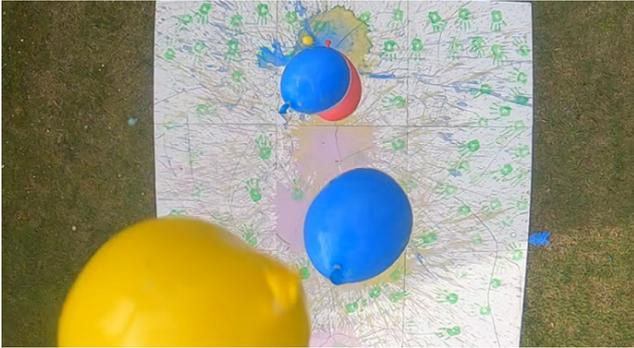
2021年12月15日

出光興産株式会社（本社：東京都千代田区、社長：木藤 俊一、以下「当社」）は、協賛する「房総里山芸術祭 いちはらアート×ミックス2020+」（期間：11月19日から12月26日、会場：千葉県市原市の小湊鐵道を軸とした周辺エリア、主催：いちはらアート×ミックス実行委員会、連携事業：おもてなし交流プログラム）で、ドローンを使った未来型アートイベント「ウォーターバルーンアート」を、12月22日に行います。

双葉電子工業株式会社（本社：千葉県茂原市、社長：有馬 資明）と当社が共同で行う、サービスステーション（SS）や超小型EV・ドローンといった、「拠点」と「モビリティ」を組み合わせたアート制作イベント「ウォーターバルーンアート」は、公立小中一貫校 加茂学園（所在地：千葉県市原市平野123）を会場に、グラウンドに敷いた白地のキャンパス（2,730mm×2,730mm、2枚）に、色とりどりの絵具が入った水風船をドローンを使って上空からランダムに落下させる手法で、アートを制作します。



アート制作を行うドローン



アート制作のテストシーン

当社は超小型EVの車両やサービスの開発をはじめ、新しいカテゴリーのモビリティ・サービスの開発に取り組んでいます。ドローンについても、当社のSSネットワークと組み合わせ、配送サービスに利用するなどの事業化検討を進めており、本イベントは次世代を担う子どもたちにモビリティの未来であるドローンを披露し、夢や将来の可能性を感じてもらうことを目的に企画しました。

イベント当日は、市原市内の当社グループSSから飛び立つドローンやドローンで撮影した市原市の風景（養老溪谷上空）、超小型EVの屋根に設置されたドローンの姿の映像も上映し、SSを起点にしたドローンの飛行からアート制作までを一連の流れとして紹介します。

■イベント概要

1. タイトル：ウォーターバルーンアート
2. 日 程：2021年12月22日（水）
3. 会 場：加茂学園グラウンド（所在地：千葉県市原市平野123）
4. 内 容：ドローンアートの制作

（制作したアートは後日市原市内の施設等での展示を予定）

当社は全国約6,300カ所にあるSS拠点を、暮らしと移動を支え、地域住民の生活を豊かにする新しい時代の「よろずや」に進化・変革することを目指しています。今後も新しいカテゴリーのモビリティ・サービスの開発やデジタル技術の活用を推進し、地域固有の課題に対して様々なサービスを必要な時、必要な場所に機動的に提供できるエコシステムの構築を推進します。

<「房総里山芸術祭 いちはらアート×ミックス2020+」について>

市原市の里山や閉校した学校、小湊鐵道の駅舎などを舞台に、世界各国のアーティストによるアート作品を展開しています。

市原市の歴史・文化・自然・人の暮らし・食・スポーツなど、地域の持つ様々な資源を現代アートと融合し、より魅力的な「いちはら」を再発見する新しい形の芸術祭です。

2021年11月19日から12月26日の期間で開催中です。

<https://ichihara-artmix.jp/>